



# T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『エンジョイローター』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

## W E E K L Y R E P O R T

『夢をかたちに』

～ Make Dreams Real～  
国際ロータリークラブ会長

発行日 2009年6月15日

No. 41

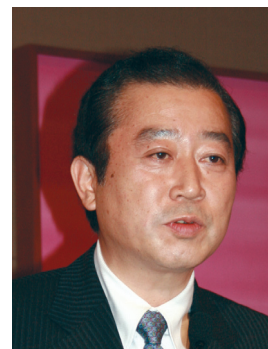
平成21年6月1日

卓話『私立中学・高等学校の現状』  
学校法人富士見丘学園 理事長・校長  
日本私立中学高等学校連合会 会長  
財団法人 日本私学教育研究所理事長  
吉田 晋 様

皆さんこんにちは。今日は私立学校についてお話しします。「私学って国からお金が入るからつづれないし税金払わないでいいし儲かってしょうがないでしょう」という人がいるんです。これまず根本が間違っています。私立学校は日本の教育の一翼を担う公教育機関です。公立学校と同様に教育基本法、学校教育法が適用されます。違うのは設立の基本が寄付行為。私どもの学園で言えば75年前に祖父が私財をなげうって土地を買い、建物を作り、学校をスタートさせた。将来の日本を担う人材のためにいい教育をしたいと創ったわけです。私立学校法は私学の自主性、公共性の確保とその健全な発達を図る目的で昭和24年に生まれました。それを具体化するため所轄庁の権限の制限とか私立学校審議会の設置などを決めています。学校法人を設置者として運営は理事会とか評議委員会が行うことで公共性を確保するわけです。このように公教育機関としての共通性を持ちながら、運営や教育について一定の自主性を発揮できるような特性を持っています。

私立学校がいい教育やっているのは皆さん分かっていただいていると思うんです。このいい教育の裏にどういう資金的バックアップがあるのか。例えば私立高校の初年度納入金の全国平均が722,704円、公立が126,650円で5.7倍も違う。一方、東京都が負担する都立高の年間教育費は生徒一人当たり1,363,508円です。皆さんは私学はお金かけた教育をしているかもしれませんけど、実は私学のほうが教育費は安い。なぜかという私学は自らが運営してるので無駄を省くというところが

あります。それと教員の人件費。公立ですと先生方は1週間で14時間、私立ですとほとんどの学校で17～18時間、授業を持っています。つまり4人で5人分の仕事をしている。それだけ私学の教員は努力してくれてる。



学習指導要領が今度変わります。高校では英語の授業を英語でやるという。ただ日本語もちゃんとできない子供に英語でできるのか。英語で授業できる教員がどこまでいるか。私は信じられません。数学にしても下の子は九九もできない。そのレベルにあったことを教えてあげるのが教育じゃないですか。ところが公立校は全部同じものをやんなきゃいけない。理想派の人たちがなんでも英語を話せればと。じゃあ今まで日本の上のほうの方って英語話せないでしょうか。日本の経済って駄目だったでしょうか。一定の方は素晴らしい英語を話せますよ。直接交渉できる人もいますよ。それにはエリートがいればいい。私学は子供たち一人一人の将来を考え、その子に合った教育をする。義務と権利の関係をしっかり教える。しっかり社会性と判断力を身に付けて世の中に出てくれることが大事。私立学校、ただ儲けて税金かかなくていい所ではございません。命がけで子供の教育をしておりますのでご理解いただきたいと思っております。ありがとうございました。